

蒸気機関車の復活保存運転を開始するにあたって

■蒸気機関車の復活運転を 2019 年中に開始します！

この度奥武鉄道では、昭和初期に大峠森林鉄道が導入した D51 形蒸気機関車 2 両を復活させ 2019 年中の運転を目指して整備する方針といたしました。その内 1 両は後に奥武鉄道に売却されて奥武鉄道の機関車とともに活躍した経歴もあり、今回の蒸気機関車復活は人気の蒸気機関車を走らせ沿線の観光に寄与するというのみならず奥武鉄道にとってもその歴史の一コマを再現し保存する試みとなります。

現在走行路線の選定や年間運行計画の作成を並行して行っております。奥武線での蒸気機関車運転にどうぞご期待下さい！

■復活する蒸気機関車

今回復活する D51 形は昭和 10 年代に奥武鉄道から分離された後の大峠森林鉄道が自社の貨物運搬用に鉄道省 D51 形蒸気機関車と同規格で発注した 8 両の機関車のうちの 2 両になります。なお私鉄が D51 形と同型の蒸気機関車を発注した同様の例としては他に胆振縦貫鉄道、恵須取鉄道(樺太)、日本窒素(海南島)がありますが、今回復活する 2 両は最後まで国鉄に買収されることなく私鉄で使用された稀有な存在として大変貴重なものとなっております。

D51 形 3101 号 昭和 14(1939)年に大峠森林鉄道の専用機として汽車製造東京支店で落成。

他の 7 両の僚機とともに大峠森林鉄道米沢機関区(当時)に導入され、大峠から米沢を経て福島まで重連で貨物列車を牽引し、鉄道省の D51 形と共通運用で使用されました。昭和 24(1949)年 4 月に鉄道省(同年 6 月より日本国有鉄道)奥羽本線の福島～米沢間が直流電化されると同線への乗り入れを中止、専ら米沢～大峠間で使用され、昭和 45(1970)年に休車、昭和 50(1975)年の大峠森林鉄道廃止とともに廃車されます。その後は米沢市内の小学校で静態保存されておりました。今回は大峠森林鉄道当時の姿をそのまま再現し、黒一色塗装の装飾のない姿でデビューします。

D51 形 3105 号 昭和 17(1942)年に大峠森林鉄道の専用機として鉄道省郡山工場で落成.

やはり大峠から福島までの貨物列車に投入されますが、昭和 24(1949)年の奥羽本線米沢直
流電化で同線への乗り入れを中止、昭和 32 年(1957)年の奥武鉄道岩羽線全通後は 3105～
3108 号が大峠森林鉄道から奥武鉄道に売却され奥武鉄道生え抜きの機関車達に交じって若
松機関区(現若松車両区)に所属し、磐岩線および岩羽線の貨物列車での使用を経て、DF500
が登場した昭和 43(1968)年以降は貨物用の予備機関車兼岩羽線の客車列車牽引機として活
躍しました. 特筆すべきは昭和 32(1957)年の岩羽線全通から昭和 40(1965)年に DF570 が
登場するまでの間、新宿～秋田間の夜行快速客車列車「あおまつ」や昭和 34(1959)年に登
場した新宿～米沢間夜行快速客車列車「もがみ」、新宿～酒田間夜行快速客車列車「あらし
お」の牽引も担っており(牽引担当区間は白河～米沢間)、その後も DF500 の増備が終わり
快速列車にキハ 4000 系の導入が始まる昭和 47(1972)年頃までは不定期ながら岩羽線の普
通、快速客車列車運用にも入っていました. DF500 の増備と旅客列車の気動車への置き換え
完了によって昭和 50(1975)年に引退、その後は喜多方市内で静態保存されていました. 今
回は奥武鉄道転属後の姿を基本に、側面ランボードおよび前面に白線を入れ前面下部に奥
武鉄道所属を示す斜めステンレス帯をあしらったシックながらも装飾的な姿で復元されま
す.

D51 3101、D51 3105 復元イメージ



D51 3101
1939~



D51 3105
1942~

■復活後の運行予定路線

復活後の運行予定区間としては以下の3区間を想定しております。

① 岩羽線 会津若松～米沢[87.6km]

編成：機関車重連+旧型客車 6 両

運行時刻(概要)

下り：会津若松 9:20 頃→米沢 12:00 頃 (所要約 2 時間 40 分)

上り：米沢 15:40 頃→会津若松 18:20 頃 (所要約 2 時間 40 分)

② 磐岩線・岩羽線直通 白河～米沢[158.0km]

*シーズン時の土曜日、翌日が祝日の日曜日のみに運転

編成：機関車重連+旧型客車 6 両

運行時刻(概要)

下り：白河 8:40 頃→岩代長沼 9:15-9:20→三代 9:58→会津若松 10:50-11:35→喜多方
12:05→米沢 14:20 頃 (所要約 5 時間 40 分)

上り：米沢 15:40 頃→会津若松 18:20-18:35→白河 21:00 頃 (所要約 5 時間 20 分)

③ 白田線 白河～南郷[84.9km]

*冬季は除雪列車の運転があるため春～秋の特定日に運転

編成：機関車+旧型客車 3 両

運行時刻(概要)

下り：白河 11:15 頃→会津田島 12:40 頃→南郷 13:28 頃

上り：南郷 15:10 頃→会津田島 16:00 頃→白河 17:05 頃

運行は①岩羽線での土日通年運転を基本とし、多客時の土曜日や連休の最終日以外を中心に②磐岩線・岩羽線直通運転を、また春から秋の特定日に白田線でも運転を行う予定です。また SL 運行開始にあたっては一部定期列車のダイヤ改定を行う予定です。今後車両の整備とともに運行についての詳細については追ってお知らせいたします。

平成 30 年 10 月 28 日 奥武鉄道